



# 金融と経済を考える

## 高校生小論文コンクール 第18回



金融広報中央委員会は  
全国の高校生・高等専門学校生・  
高等専修学校生等を対象に  
「金融と経済を考える」小論文を募集しています。  
みなさんがふだん考えていること、  
調べたことなどをまとめてご応募ください。

### 特選5編 (賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 全国公民科・社会科教育研究会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

### 秀作5編 (賞状と奨学金2万円)

佳作30編 (賞状と図書カード6千円分)

学校賞(特選受賞者在籍校)5校 (賞状と図書カード1万円分)

〔主催〕金融広報中央委員会

〔後援〕金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会、全国家庭科教育協会、日本私立中学高等学校連合会

9月20日  
しめきり!!  
消印有効

# テーマ 自由

テーマは、金融や経済に関することであれば、どのようなものでも構いません。テーマを考える際の参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

## ◆テーマの例

### 1. あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職を付ける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

### 2. 日本のこれからを考える

現在の日本経済には、少子高齢化の進展、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

### 3. 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や、環境に優しいエコ商品、ユニバーサルデザイン、あるいはゲームやアニメなどのコンテンツ産業等、新たな経済活動が活発になってきています。観光や特産品による地域おこしなど、地方を活性化させようとする動きも全国各地で見られます。あなたが注目する産業について、その特徴をまとめ、将来有望であるとする理由を述べてみましょう。

### 4. 消費者としてのルール

ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルに巻き込まれないためにどうすればよいと思いますか。2022年4月に成年年齢が18歳に引き下げられることも踏まえつつ、なるべく具体的に、ルールを紹介したり、あなたの考えをまとめてみてください。

## 第18回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

[賞] ●特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と奨学金2万円)

●佳作 30編(賞状と図書カード6千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2020年9月20日(日)※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って

応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2020.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2020.jp/>



## 小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

# 自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から1,630点の作品が寄せられ、40点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



## 第17回 受賞作品の紹介

(2019)

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。



[https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours\\_ronbun/](https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/)

### 金融担当大臣賞

キャッシュレスを通して見えてきたこと  
鹿児島県 鹿児島県立甲南高等学校 2年  
池上 楓佳さん

**作品の内容** 修学旅行で東京に行った筆者は、キャッシュレス生活に挑戦します。3万円のお小遣いを、デビットカードと交通系ICカードで1万円ずつ、スマホ決済と現金で5,000円ずつに分けて持参。結果は、現金を使ったのは数百円だけでした。世界のキャッシュレス決済の普及率、東京と地方の違い、メリットやデメリットの分析などを通じて、過疎や高齢化が進む地域の課題に向き合います。「自身の体験からはじまり、世界の現状や、自らが住む地域の課題などをよく考察している」との評価を得ました。

**受賞者の声** この小論文を書いたから数ヶ月、世間でキャッシュレス化がどんどん進んでいくのを感じます。これからは、金銭感覚をどうやって身に付けるのが課題になりそうです。私の体験や感想を多くの人と共有し、議論することで、この課題に向き合っていきたいです。

### 文部科学大臣賞

飛び立て！日本の仲間たち  
東京都 開成高等学校 2年  
谷澤 文礼さん

**作品の内容** 筆者が夏休みに訪れた中国・広東省では、若きエリートたちが海外から知識と技術を持ち帰り、経済成長を牽引しています。日本も海外留学により最先端の技術を持ち帰ることで経済成長を期待できると考え、生産年齢人口は今後減少するものの、各人が論理的思考力、創造性、対人関係能力を習得することが肝要と述べます。同時期にボランティアで滞在したガーナでの日々は「幸福」について改めて考える機会となりました。「海外に目を向け、海外から学ぼうとしている」点が評価されました。

**受賞者の声** 何事も一朝の体験で済まさず、顧みて経験にすることが大切だと思います。自分の結論を発信し、それをこうして評価していただけたことを、大変嬉しく存じます。真に求むべきは何か。自分はどう生き、どう社会に貢献するのか。今後も弛まらず精進して参ります。

### 日本銀行総裁賞

未来を造る「声」  
岩手県 岩手県立一関第一高等学校 1年  
後藤 侑紗さん

**作品の内容** 高校のある一関市は、駅や学校、図書館をはじめ、書店、文具店、塾などがほどよく点在して活気もあり、市外に住む筆者にはとても魅力的です。町の発展には、次世代を担う若者の育成や、地域住民の声を行政に届ける仕組みが大切であると述べ、物事の決定方式についても考察します。「若者に失敗を恐れずに行動させる温かい見守りがあれば、町は明るくなっていくのではないかと締めくくります。「身近な地域から、自分なりの地域活性化策を考えている」と評価されました。

**受賞者の声** 以前から興味があった町興しについて、私の住む町と他の町とを比較して意見交流をし、これからどうしていくべきかを考えることができました。今後とも学んだ事・考えた事を踏まえて町興しに参加したいです。

### 全国公民科・社会科教育研究会会長賞

予算生活から見えてくる損と得  
兵庫県 滝川第二高等学校 2年  
藤原 康多さん

**作品の内容** 幼い頃から母親に金銭教育を受けてきた筆者は、初めての家族での海外旅行に向けて、母親の助言を受けながら予算計画を立てます。家族全員の希望を聞き取り、図書館で借りた旅行ガイド本を参考に食事代や買い物代などを決め、予算案は家族会議で無事承認されます。こうして実現した念願のグアム島旅行は、家族皆が満喫することができました。この経験から、この先も有意義なお金の遣い方をしたいと決意します。「ユニークな体験で他の人に読ませたい」などの評価を受けました。

**受賞者の声** 今回を機に、金融と経済について更に興味が湧きました。格差社会をなくし困窮する人々を助け、誰もが幸せに暮らし笑顔が溢れる世の中のできるように、私は大学に進学し、探求心を持って学びたいです。そして社会に貢献できる人間になりたいと思います。

### 金融広報中央委員会会長賞

祖父から学んだ働き方  
宮崎県 宮崎県立日南振徳高等学校 3年  
戸村 咲希さん

**作品の内容** スーパーマーケットの経営者だった筆者の祖父は、子供たちの本の購入資金として、地元自治体などに毎年寄付を行っていました。小学校の図書室で偶然そのことを知った筆者は、祖父のような大人になりたいと思い続け、商業高校に進みます。実践授業では、ものを売るために必要なこと、働く際の責任などについて学びました。お店の経営を長く続けた祖父に思いをはせ、「誰かの笑顔を見るために働ける人間になる」と結びます。審査員は「自身の体験から未来志向につなげている」と評価しました。

**受賞者の声** スーパーを経営していた祖父について書きました。地元に戻すために働いていた祖父は私の誇りであり、また地元の宝でもあったと思います。私も祖父のような大人になるために、愛を持って、大切な誰かを思いながら、これから社会に出て働きたいと思っています。

### 秀作

私は行列に並びます  
京都府 同志社女子高等学校 1年  
藤本 更紗さん

お金ではかれないものの価値  
神奈川県 神奈川県立平塚中等教育学校 5年  
中富 千晴さん

ランドセルが教えてくれたこと  
岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年  
吉行 日菜乃さん

シングルマザーの貧困問題  
愛知県 愛知県立半田商業高等学校 3年  
原口 永遠さん

私が期待する介護用品業界  
広島県 広島県立広島特別支援学校高等部 3年  
永井 光樹さん

### 学校賞

岩手県 岩手県立一関第一高等学校  
東京都 開成高等学校  
兵庫県 滝川第二高等学校  
宮崎県 宮崎県立日南振徳高等学校  
鹿児島県 鹿児島県立甲南高等学校

第17回  
審査員  
(敬称略)

天野 晴子(日本女子大学教授) 樋口 雅夫(玉川大学教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士) 佐藤 雅之(金融庁総合政策局総合政策課総合政策管理官)  
濱野 清(文部科学省初等中等教育局視学官) 大山 敏(全国公民科・社会科教育研究会会長) 中川 忍(日本銀行情報サービス局長)  
武井 敏一(金融広報中央委員会会長)

